

FORLAM

亡くした子どもの遺志を継ぐ

—— 関わったすべての人とともに ——

子どもの死は壮絶です。
深い悲しみと癒えることのない痛みを周囲の人々の心に刻んで、
一人旅立っていきます。
しかしまた、その姿は健気でどこか凛としています。
そして、関わったすべての人が、
その子からかけがえのない贈り物を
受け取っていることも確かです。



子どもを亡くした体験をもとに、
現在困難に立ち向かっている人々のために
貢献している人は少なくありません。
その活動が家族の再生につながることもあります。
関わった、医師や看護師、教師や福祉の現場の人々の
仕事の糧になることもあるでしょう。
亡くした子どもの遺志を継ぎ、
全国各地で様々な活動が続ける人々から、
その経験を学び、何が出来るのか、どうすれば出来るのか、
それぞれの人がそれぞれの新しい生き方を模索する、
そんな機会にしたいと願ってこのフォーラムを開催します。
このフォーラムは全国5ヶ所で順次開催を予定しています。

主催：NPO難病のこども支援全国ネットワーク(Tel.03-5840-5972)

参加費：無料(資料代500円)

定員：先着200名(当日先着順)

コーディネーター：田中千鶴子(昭和大保健医療学部看護学科・NPOレスパイトケアサービス「萌」)
小林 信秋(NPO難病のこども支援全国ネットワーク)

第1回

日時：2006年5月13日(土) / 14:00~17:00
(13:00開場)

会場：東京慈恵医科大学西新橋キャンパス

大学1号館3階講堂

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8
(都営三田線「御成門駅」A5出口すぐ)

パネリスト：近藤 博子(がんの子どもを守る会MSW)

細谷 亮太(聖路加国際病院小児科部長)

若林 一美(山梨英和大学教授・ちいさな風の会世話人)

丸山 郁子(心身障害者通所施設指導員)

丸山 節子(難病のこども支援全国ネットワークピアサポーター)

総司会：濱中 喜代(東京慈恵医科大学教授)